

# たからづか都市計画マスタープラン-2012-

— 都市計画に関する基本的な方針 —



宝 塚 市

# たからづか都市計画マスタープラン -2012-

## — 都市計画に関する基本的な方針 —

## はじめに

わたしたちのまち宝塚市は、「青い山脈」のメロディのモデルとも言われる六甲山系やなだらかな山脈の長尾山系、まちの中央には、鳥たちが羽を休め、小魚をついばむ武庫川が流れています。このような豊かな自然環境に抱かれ、住宅都市を基調として発展し、自然環境と調和したゆとりと潤いが本市の魅力であります。

近年、都市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。中でも、少子化・高齢化社会の到来は、今後の都市づくりを考えていくうえで重要な課題であります。さらには、地方分権、高度情報化や環境問題など様々な課題があり、今後、的確な対応が求められています。

このような背景のもと、平成23年度（2011年度）には、10年間を計画期間とする「第5次総合計画」をスタートさせました。この総合計画における将来都市像として「市民の力が輝く 共生のまち宝塚～住み続けたい、関わり続けたい、訪れてみたいまちをめざして～」を掲げ、この実現に向けて全力で取り組んでいるところであります。

今般、この取組みの一環として、本市におけるまちづくりの基本方針となる「たからづか都市計画マスタープラン-2012-」を策定いたしました。本マスタープランでは、総合計画の将来都市像を実現することを目標とし、「市民と自然環境と歴史がつくりだす魅力ある文化都市」を都市空間イメージとして掲げ、これまでの都市づくりのコンセプトの継承を基本としながらも、新たな観点を付加し、「庭園都市～環境と共生するまち～」、「居住文化創造都市～ふれあいのあるまち～」、「芸術レクリエーション都市～交流のあるまち～」を都市づくりのコンセプトとして定め、コンパクトなまちづくりへの転換と生活者重視などの視点でまちづくりを進めます。

今後も、本マスタープランに基づいて、市民と行政、事業者が協働して、「住み続けたい、関わり続けたい、訪れてみたい」と実感できるようなまちづくりを進めて参りたいと考えています。

結びに、本マスタープランの策定にあたりまして、ご尽力を賜りました宝塚市都市計画審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆さんに心から厚くお礼を申し上げますとともに、今後のまちづくりへのご協力をお願い申し上げます。



平成24年（2012年）6月

宝塚市長

中川 智子

# 目 次

序	1
たからづか都市計画マスタープランの改訂の背景	1
都市計画マスタープランの概要	2
<b>第1章 宝塚市の現状と都市づくりの主要な課題</b>	<b>4</b>
1-1 宝塚市の現状	4
1-2 宝塚市の都市計画の現状	8
1-3 都市づくりの主要な課題	16
<b>第2章 都市計画の目標</b>	<b>23</b>
2-1 広域圏における本市の位置付け	23
2-2 人口減少社会に向けた都市づくりの考え方	24
2-3 めざす将来都市像	25
2-4 都市づくりの方向	27
<b>第3章 めざすべき都市構造</b>	<b>34</b>
3-1 都市構成と土地利用	34
3-2 都市拠点	40
3-3 交通ネットワーク	44
3-4 水と緑のネットワーク	47
<b>第4章 部門別整備方針</b>	<b>52</b>
4-1 土地利用の方針	53
4-2 市街地整備の方針	64
4-3 都市施設などの整備方針	66
4-4 都市防災の方針	74
4-5 都市景観の形成方針	79
<b>第5章 地域別構想</b>	<b>84</b>
5-1 第Ⅰ地域（仁川・高司・良元・光明・末成）	86
5-2 第Ⅱ地域（末広・西山・逆瀬台・宝塚第一）	95
5-3 第Ⅲ地域（すみれガ丘・宝塚・売布）	105
5-4 第Ⅳ地域（小浜・美座・安倉・安倉北）	116
5-5 第Ⅴ地域（長尾・長尾南・丸橋）	126
5-6 第Ⅵ地域（中山桜台・中山五月台・山手台・長尾台）	137
5-7 第Ⅶ地域（西谷）	146
<b>第6章 施策の推進のために</b>	<b>154</b>
6-1 協働のまちづくりの推進	154
6-2 施策などの充実と効率的な執行	155
6-3 都市計画マスタープランの更新	156
付属資料	157